

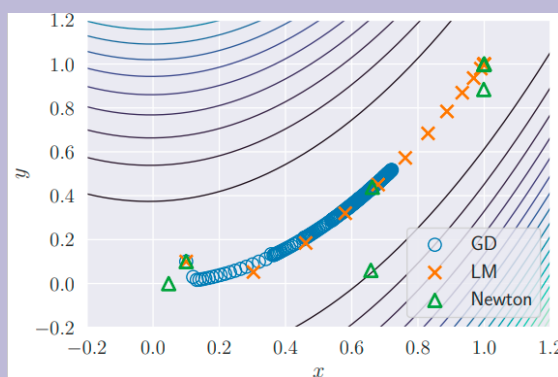
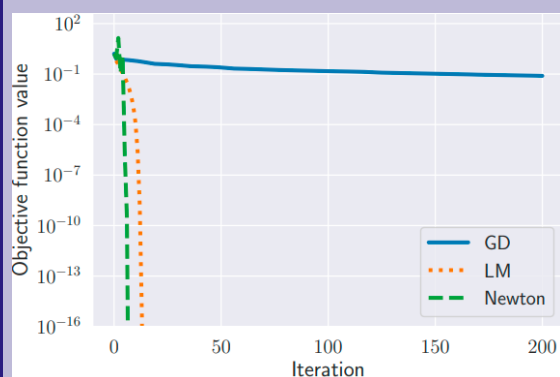
丸茂 直貴 氏

(東京大学大学院 情報理工学系研究科)

関数の合成構造を利用した最適化
一般化 Levenberg-Marquardt 法とその理論保証

数値最適化では、解きたい問題の構造を利用することで、より効率的なアルゴリズムの設計が可能となる。構造には様々な種類があるが、ここでは目的関数が2つの関数の合成として表される問題に注目する。例えば、非線形最小二乗法は非線形関数と二次関数の合成の最小化問題と見なすことができる。このような合成構造は実問題にしばしば現れる。

本講演では、合成構造に特化した最適化手法として、一般化Levenberg-Marquardt (LM) 法を紹介する。さらに、適切なパラメータ設定といくつかの工夫により、最悪時計算量と局所二次収束という2つの理論保証を両立する一般化LM法が設計できることを示す。



↓参加登録はこちら↓



5月16日 (金) 17:00-18:20

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館412教室, ハイブリッド開催

参加ご希望の方は、右上のQRコードより参加登録をお願いいたします。

参加費無料

登録締切: 5/15 (木)

国際展示場駅 徒歩7分
東京ビッグサイト駅 徒歩6分

コーディネーター: 佐々木 多希子 (武蔵野大学工学部数理工学科 准教授)

問い合わせ先: 武蔵野大学数理工学センター

https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Prosperity for the World